

翻訳にあたってのヒント

その 70

副詞について

副詞は、「文全体、動詞、名詞、代名詞、形容詞、ほかの副詞」などを修飾し、とくにそのなかでも動詞をもっとも多く修飾するものであり、位置的には「文頭、文末、動詞の直前、be 動詞の直後、助動詞の直後」などにつき比較的自由度が高い。とはいえ他動詞と目的語の間におくことはまれというよりは不可とされている。さらに複合動詞の場合にはその間に置かれることが多い。

▼ 以下例文：

* Japan depends heavily on foreign countries for natural resources.

* Since the only inputs to the model are up-time and down-time, the results are largely dependent upon the accuracy of these data.

* However, once a drug is approved, the FDA typically has to rely largely on reports of incidents that come in through its "adverse event" reporting system.

他に、「depend largely on ...」の形が、「largely (or greatly) depend on ...」「depend to a great degree on ...」や他の形で表現される場合もある。その定番訳は、「～に大きく左右される、～に負う面が強い、～に大いに依存している、～によるところが大きい」である。

また文修飾副詞である「certainly」の場合は、「文頭、be 動詞の前後、文尾」におかれるのが普通であるが、通常は be 動詞の後に置かれるのが普通である。このため、置かれる場所によって微妙なニュアンスが生じる。これが be 動詞の前におかれるとその be 動詞自体を強めて肯定しているという意味になる。

副詞の訳出にあたっては、文全体を修飾しているかあるいは文中の特定の語句を修飾しているのかで意味がかなり違ってくるので、注意が必要だ。

例えば、次のような文の場合、どう訳すかはおのずと決まってくるので訳し分けが必要だ。(これについては、副詞の訳出法の勉強になると思われるため、ご自分で和訳されるようおすすめする。)

* She stated her opinions naturally.

* She naturally stated her opinions.

「頻度の副詞」である「usually、generally、always、often、rarely」などの位置関係も重要で、usually を引き合いにだすと、「I am usually late for class. いつも授業に遅刻する」の語順が強調のために、「Usually I am late for ...」「I usually am later for ...」「I am late for ..., usually.」となったりすることなどがその一例である。

◆ 豆知識

「sure」の位置的な立場な関係から、「sure を **certainly** の意味の副詞」で使う場合、「主語 + sure + be 動詞」などとする。

I sure am glad to see you. お目にかかれてうれしい限り（喜ばしい限り）です。

以上、これにて第 70 回目おしまい。(2008 年 8 月記)